

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A	
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)		作成日	H23.4.1		
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	酒井 美一		
取組年度	H23	～	H26				
効果	その他改善						
最終目標	公共施設の有効活用, 適正配置及び市民が施設運営への参加促進等のため, 各公共施設の目的や対象者, 利用者数, 稼働率, 運営コスト等について, 共通の指標で比較検討できるような(仮称)公共施設白書について作成し, 公開する。 また, そのためのデータ整理や公共施設の有効活用に利用できるシステムの導入についても検討する。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	今後の有効活用に必要なデータ項目の整理, システム導入の検討					
平成24年度	実施	システムへのデータ投入					
平成25年度	実施	(仮称)公共施設白書の作成					
平成26年度	完了	(仮称)公共施設白書の公開 以降更新 営繕計画に反映					
平成27年度							
成果指標	指標名	公共施設白書システム化進捗状況				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	20	50	80	100		100
	実績値	10					10
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる			

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A			
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	酒井 美一	担当者	資産管理担当			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	今後の有効活用に必要なデータ項目の整理, システム導入の検討							
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	施設の有効活用に必要なデータの項目検討		○	○					
2	システム選定, 導入準備				○	○			
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進都市の事例研究, 自治体間の意見交換会及び研究部会に参加して情報収集に努めているが, 柏市と同規模の好事例の取り組みや比較検討するための成功事例が少ないため事務が遅れている。</li> <li>最終的に目指すべき方向が確立しないことから, 引き続き他市の状況を参考に検討を続けていくこととしたい。</li> </ul>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	公共施設白書システム化進捗状況		計画値	単位 20	%	実績値	単位 10	%
	達成状況【成果】	未達成	コメント	先進都市の事例研究や自治体間の意見交換及び研究部会などに参加して情報報集に努めたが, システム導入の検討にまで至っていない。引き続き, 次年度も検討を続けていくこととなった。					
	進捗状況【活動】	遅れている							
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	具体的なシステム導入にまで至っていない。次年度も公共施設の有効活用に必要なデータの項目の整理, システムの導入検討を行う。				
計画値		有							
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	C	コメント 指示事項	早急に必要なデータが管理できる資産台帳を関係部署と調整し作成すること。					
	方向性	取組み強化							

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業		作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課		責任者	小城 亨	担当者	労政・融資	
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減							
最終目標	勤労会館施設管理運営事業費を一般財源ベースで対平成23年度当初予算比20%を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	利用促進を図るとともに、勤労会館のあり方を検討する。						
平成24年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直しの周知を行う。 25年度予算で対23年度当初予算比5パーセント程度削減。						
平成25年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。 26年度予算で対23年度当初予算比15パーセント程度削減。						
平成26年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。 27年度予算で対23年度当初予算比20パーセント程度削減。						
平成27年度	完了	開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを継続する。						
成果指標	指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費				単位	千円	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	6,062	5,759	5,153	4,850	4,850	4,850	
	実績値	6,075						
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13					△ 13
	計	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13					△ 13
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課	責任者	小城 亨	担当者	労政・融資			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	利用促進を図るとともに、勤労会館のあり方を検討する。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	利便性の向上(受付期間の見直し)			○					
2	PR活動の促進				○				
3	あり方の検討			○	○	○			
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労会館条例施行規則を改正し、5月から受付期間の見直しを行って利用者の利便性の向上を図った。</li> <li>・勤労会館運営協議会において勤労会館のあり方について協議を行った。</li> </ul>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					6,062			6,075	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労会館運営協議会において今後の勤労会館のあり方をとりまとめた。</li> <li>・消耗品費等の見直しを進めたが、委員報酬等の増加が必要となり実績値は増加した。</li> </ul>					
	進捗状況【活動】	進んでいる							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	大竹 正祥	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	勤労会館運営協議会の提案を基に、より効果的な運営をするため、開館時間の検討、パソコンルームの廃止に伴う賃借料等の経費削減を図り、今後も管理経費の削減に努めること。					
	方向性	継続実施							

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策		作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	140400	都市部 住宅課		責任者	藪崎 則雄	担当者	市営住宅担当	
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	市営住宅の耐久性の向上及び機能の向上を図る改善を実施することにより建物の長寿命化を図る。 特に経年劣化の激しい外壁, 屋上防水部材に関しては, グレードアップ等による耐久性を向上させることにより修繕周期の延長によるライフサイクルコストの縮減を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	市営逆井団地14号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成24年度	実施	市営北柏D棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成25年度	実施	市営北柏C棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成26年度	実施	市営塚崎団地1,2号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成27年度	完了	市営塚崎団地3,4号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
成果指標	指標名	老朽化対策進捗率				単位	棟	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	1	2	1	2	2	8	
	実績値	1						
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	1,400	5,100	5,700	4,400	4,000	20,600
		実績額	1,400					1,400
	計	計画額	1,400	5,100	5,700	4,400	4,000	20,600
		実績額	1,400					1,400
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31		
担当部署	140400	都市部 住宅課	責任者	藪崎 則雄	担当者	市営住宅担当		
	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	市営逆井団地14号棟外壁塗装,防水改修工事, その他工事						
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	外壁塗装, 屋上防水等に関する設計図書作成			○				
2	外壁塗装工事, 防水改修工事等の実施			○	○			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	計画どおり設計図書は完了し, 工事については請負契約を締結した。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	老朽化対策進捗率	計画値	単位	棟	実績値	単位	棟
				1		1		
	達成状況【成果】	達成	コメント	外壁塗装, 屋上防水とも計画どおり実施し建物の耐久性向上を図ることができた。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	平成24年度予算に基づく調整(平成23年度計画時8棟であったが平成24年度で6棟に変更した)				
	計画値	有						
評価	評価者	吉川 正昭	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	今後とも予算配分等を踏まえ計画的に進めていくこととしたい。				
	方向性	継続実施						

H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	歳出削減						
最終目標	平成19年度から平成23年度までは、橋梁データの収集であり、それを基に平成24年度に作成する、橋梁長寿命化策定計画の中で、平成25年度以降から限られた予算金額等のもと対策の優先順位付けを考慮・検討を行い、試算を繰り返し予算の平準化を行うため、現時点での計画額の表記は不可能である。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	橋梁長寿命化策定計画に向けての橋梁データの収集					
平成24年度	実施	橋梁長寿命化策定計画の策定					
平成25年度	実施	橋梁長寿命化策定計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成26年度	実施	橋梁長寿命化策定計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成27年度	完了	橋梁長寿命化策定計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
成果指標	指標名	橋梁データ収集・維持補修				単位	橋
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	38	176	5	5	5	
	実績値	38					
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)	橋梁データ収集	H23までの橋梁データを基に、全橋梁176橋の策定計画を実施	H25から策定計画を基に計画的な維持補修を実施していく。	→			

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31		
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当		
	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	橋梁長寿命化策定計画に向けての橋梁データの収集						
	取組項目	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	関係機関との調整	○						
2	橋梁点検業務委託		○	○	○			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	震災の関係で、当初の長寿命化対応の点検業務よりも先に震災対応の点検業務をしているため。本アセットは、3月工期にて発注済み。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	橋梁データ収集・維持補修	計画値	単位	橋	実績値	単位	橋
				38			38	
	達成状況【成果】	達成	コメント	今年度のデータ収集で計画通り、柏市管理の橋梁176橋が全て揃った。				
	進捗状況【活動】	進んでいる		うまくいった点、15m以下の小規模な橋について外部発注せず職員にて点検を実施した結果と判断する。				
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	計画策定は事業実施の方向性を定める上で、最重要ポイントである。詳細に検討し、事業継続可能な実施計画を定めること。				
	方向性	継続実施						



H23

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32005	青少年センターの管理		作成日	H23.4.1			
担当部署	280700	生涯学習部 生涯学習課		責任者	柴田幸雄		担当者	水野
取組年度	H23	～	H24					
効果	その他改善							
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的利用の推進による幅広い利用を促し、低稼働率(平成22年度稼働率28.5%)向上のために施設の有効利用を図る。</li> <li>・近隣センターの平均稼働率(約50%)を上回る成果指標の計画値を設定し、実現に向けて取り組む。</li> </ul>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	実施	稼働率向上のため、青少年団体や幼稚園、小中学校のPTA等への周知を行うとともに、多目的利用を含めた幅広い施設利用について、検討し方向性を見出す。また、教職員研修所としての施設活用を行い、その機能向上に必要な改修工事も実施する。(工事は、教育研究所で実施)						
平成24年度	完了	前年度までの検討を踏まえ、多目的利用を含めた施設の有効活用を進める。						
平成25年度								
平成26年度								
平成27年度								
成果指標	指標名	稼働率				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	45	50				0	
	実績値	28					0	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額					0	
		実績額					0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	稼働率の向上により、施設の有効利用が図れる。	稼働率の向上により、施設の有効利用が図れる。						

H23

## アクションプラン(平成23年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32005	青少年センターの管理	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	280700	生涯学習部 生涯学習課	責任者	柴田幸雄	担当者	水野	
	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	稼働率向上のため、青少年団体や幼稚園、小中学校のPTA等への周知を行うとともに、多目的利用を含めた幅広い施設利用について、検討し方向性を見出す。また、教職員研修所としての施設活用を行い、その機能向上に必要な改修工事も実施する。(工事は、教育研究所で実施)					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	青少年センターのあり方について検討			○	○	○	○
2	青少年団体や幼稚園、小中学校のPTAへの周知			○	○		
3	教職員研修所としての改修工事				○	○	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	青少年団体や幼稚園、小学校等に呼びかけはしたが、平日の利用は伸びなかった。 教職員研修所としての改修工事は予定通り12月末で終了。4月よりの受入準備は予定通り、完了した。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	稼働率	計画値	単位 45	%	実績値 28
		達成状況【成果】	一部達成	コメント	青少年健全育成関係団体の利用は周知を行ったが、震災により利用を中止した期間もあり、従前の域を出なかった。 目的外利用については、教職員研修施設として利用できるように教育研究所と調整を行い改修した。その他の団体へのPRについて今後検討する。		
		進捗状況【活動】	遅れている		今後の施設のあり方については引き続き検討する。		
		計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	青少年センターのあり方を示し、それに沿って利用拡大方法及び適切な指標について検討する。	
	計画値		無				
評価	評価者	草野 啓治	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	C	コメント 指示事項	目標の達成に向けた進行管理を徹底し、業務を遂行する必要がある。			
	方向性	取組み強化					